

## 止まり木



## 夢は変わってもいい!



「憧れの読売巨人軍に入団し、王 貞治のような偉大なプロ野球選手になりたい」これは、校長先生が小学校6年生の時に卒業文集

に書いた『将来の夢』です。何十年も前の話ですが、今でも鮮明に覚えています。当時は王選手や長嶋選手が絶頂期の時で、その姿にあこがれ本気でプロ野球選手になりたいと思っていました。しかし進学した中学校には野球部がなく、仕方なく他のスポーツをする事になりました。中学3年生になり引退した後は友達に協力してもらって、昼休みにキャッチボールをしたりピッチング練習をしたりと高校で野球をするための準備を自分なりに行っていました。そんな12月、進路懇談の時に担任の先生から「田中君は将来、何をしたいの? 将来の夢は?」と聞かれ、とっさに答えたのが「**体育の先生になりたい**」でした。

あれだけプロ野球選手になりたいと思っていた自分がなぜそんな風に答えたのかはわかりません。心のどこかで当時の中学校の先生、特に担任の先生が好きだったことが原因の一つになったのかもしれない。さらに進学した高校に野球部がまたまたなかったことも教師への夢を固めることになったのかもしれない。そこからは体育の教員免許を取ることができる大学への進学、教員採用試験は何度も受けることになりましたが、ようやく自分の夢が叶い、今こうしてみんなの前でしゃべっています。なぜこんな話をしているのか。それは**夢や目標は変わってもいい**ということをおみんなに知ってほしかったからです。もしかしたらみんなの中には自分の目標が達成しなければ、「自分はダメな人間だ」と思ってしまう人もいるかもしれません。しかし夢や目標は変わっていいのです。新しい夢や目標を持つことが大切なのです。今日から3年生は進路懇談が始まります。自分の思っていた進路が厳しいということもあるかもしれません。でも、自分はダメだと思わず、新しい目標に向かって前に進むことを考えてほしいと思います。



新しく前に進むためにはこれまでを振り返る必要があります。1年生、2年生は自分自身を振り返り、見つめなおす期末懇談にしてください。以上、今日の全校集会でお話しした内容です。ちなみに校長先生は右投げ右打ちでしたが、王選手が好きすぎて、左でも打てるようになりました。

←現役時代の王選手の一本足打法(フラミンゴ打法とも言われました)